

令和元年度高岡市市民共創チャレンジ事業

住み慣れた地域で

最後まで

暮らし続けるために

老いても 病んでも高岡で

令和元年

11.9^土

午後2:00～午後4:30
高岡市医師会会館ホール

〒933-0021 富山県高岡市下関町4番56号 TEL 0766-25-7060

市内の医療介護機関や行政が一体となって機能を果たし、老いても病んでも暮らしやすいまちづくりを目指している松戸市。その活動を参考に、医療・介護・行政関係者みんなで「老いても病んでも」最期まで暮らし続けることのできる高岡」について考えてみませんか！

第1部

講演

地域で最後まで暮らし続けるために ～地域を一つの“バーチャル病院”に見立てる～



講師

川越 正平 先生（あおぞら診療所所長・千葉県松戸市）

PROFILE

1991年東京医科歯科大学医学部卒業。1999年千葉県松戸市に在宅医療を中心とするあおぞら診療所を開設。2004年あおぞら診療所院長。2012年医療法人財団千葉健愛会理事長。「患者中心の在宅医療体制の実現」を目指し「臨床」「連携」「教育」「研究」「啓発」の実践に取り組む。

第2部

討論会

老いても病んでも 暮らし続けることのできる高岡

講師 塚田 邦夫 先生（高岡駅南クリニック 院長）

講師 林 浩靖 さん（(医)光ヶ丘病院 地域連携室長）

講師 茂古沼江里 さん（福岡地域包括支援センター 所長）

講師 森川 朋子 さん（高岡市高齢介護課 課長）

コーディネーター 川越 正平 先生

主催 地域包括ケア勉強会・社会福祉法人あいの風福祉会・社会福祉法人高岡南福祉会
社会福祉法人早川福祉会・NPO法人よりどころ・(株)エスエイチ

後援 高岡市・高岡市医師会・北日本新聞

お問い合わせ 特別養護老人ホームはるかぜ（TEL 0766-63-8820）施設長澤田まで

入場無料

定員 100名

講師プロフィール

川越 正平 先生

あおぞら診療所所長・千葉県松戸市



略 歴

- 1991年 東京医科歯科大学医学部卒業
虎の門病院内科レジデント
(前期2年、後期3年)
- 1996年 虎の門病院血液科医員
- 1999年 医師3名によるグループ診療の形態で
あおぞら診療所を開設
- 2004年 あおぞら診療所院長
- 2012年 医療法人財団千葉健愛会理事長

役職・その他

- 東京医科歯科大学 臨床教授
- 日本在宅医療連合会 副代表理事
- 松戸市医師会 在宅ケア担当理事 (松戸市在宅医療・介護連携支援センター管理責任者)
- 松戸市介護保険運営協議会 会長
- 松戸市地域ケア会議 会長

これまでの主な活動

- 松戸市在宅医療・介護連携支援センター (2018年度～)
- 在宅医療・介護連携推進事業 (2016年度～ 松戸市医師会在宅ケア委員会)
- まちっこプロジェクト (2015年度～ 松戸市医師会健康啓発委員会)
- 地域包括ケア研究会 (2012～2013年度 厚生労働省老健局、委員)
- 在宅医療連携拠点事業 (2011～2012年度 厚生労働省医政局モデル事業)
- 東京大学高齢社会総合研究機構在宅医療推進寄付プロジェクト (通称：柏プロジェクト)
- がん対策のための戦略研究「緩和ケア普及のための地域プロジェクト」OPTIM

著 書

- 「在宅医療バイブル第2版」 (2018年 日本医事新報社 編著)
- 「今日の治療指針」 (2018年版～ 医学書院 編著)
- 「介護職のための医療とのつきあいかた」 (2016年 メディカ出版 編著)
- 「君はどんな医師になりたいのか」 (2002年 医学書院 共著)

論 文

- 第114回日本内科学会総会特別シンポジウム「理想の内科医像」講演会記録
- 「患者の人生に寄り添い、病院と地域をつなぐ医師」
- 会員のための企画「進行がん患者を看取りまで支える在宅医療」
- 医学と医療の最前線「在宅医療の現状と課題」